

平成28年度 技術士第二次試験準備講習会



氏名 : 稲村 貴志
所属 : (株)荒谷建設コンサルタント
TEL : 089-973-4431
部門 : 建設部門

1. はじめに

平成28年4月9日(土)13:00~17:00、愛媛大学工学部講義棟1F EL13講義室において、『土木学会四国支部愛媛地区部会』並びに『愛媛大学理工学研究科生産環境工学専攻環境建設工学コース』の共催を頂き、平成28年度技術士第二次試験準備講習会を開催致しました。参加者は受講者9名、講師2名、グループ討議指導者4名の合計15名にて実施いたしました。

平成25年度から試験制度が見直され、昨年度の試験を踏まえた新設問題や願書の書き方の変更点等の具体的な情報を提供するとともに、平成27年度新合格者1名から貴重な体験談を頂きました。また、それらをもとにグループ討議を行い、講習内容の質疑応答や普段から疑問に思っている点について活発な討論を行うことができました。

2. セミナー内容

1) 技術士第二次試験とその対策(13:00~14:35)

【講師：山本和宏氏(農業部門、総合監理技術部門)】

インターネットの技術士受験を応援するサイト『SUKIYAKI 塾』でもご活躍の山本氏をお呼びし、以下のプログラムでご講演頂きました。

1. 技術士とは：技術士の目的と定義、高等の専門的応用能力とは、新試験制度の背景、技術士に求められる資質、コンピテンシー、3義務2責務、倫理など
2. 技術士試験制度：試験の流れ、試験概要、合否判定基準、試験スケジュール、留意点など
3. 技術士第二次試験結果：試験結果、合格率など
4. 受験申込書の書き方：業務経歴票作成上の留意点・書き方、小論文の仕様・ポイント・書き方など
5. I 必須科目(択一式)の傾向と対策：I 必須科目について、要点、傾向、対策など
6. II 選択科目(専門知識・応用能力)の傾向と対策：どのような形で問われたか、対策や要点、解答例
7. III 選択科目(課題解決能力)の傾向と対策：出題傾向、要点、構成、解答例など



願書の書き方や小論文の書き方について、具体的に詳細に説明いただきました。小論文の書き方では、課題解決のプロセスが重要であり、解決のロジックが明確に読み取れること、また小論文の内容が口頭試験まで進んだ段階で合否に大きく影響を与えることなどのご指導がありました。

また、Ⅰ 必須科目(択一式)については、過去問題と対比して出題傾向を分析された内容を講習いただき、Ⅱ 選択科目(専門知識・応用能力)では解法のテクニックや勉強方法と記憶の仕組み、Ⅲ 選択科目(課題解決能力)ではどのような形で問われたかなどの要点を、具体例を交えて解説頂きました。

事前に受講者の方から提出いただいた質問に対しても回答していただき、受講者にとって大変有意義なものとなったと確信致しております。

主な質問内容

- ・ 択一式の点数をとる方法
- ・ 論文形式の予想問題について
- ・ 4ヶ月程度の短期間集中での勉強方法
- ・ 相対評価か絶対評価か
- ・ 採点されるポイント など

2) 平成27年度合格者体験談(14:45~15:10)

1名の方から貴重な体験談のご報告を頂きました。

【大西 剛史 (建設部門：港湾及び空港)】

主な講演内容

1. 受験までの道のり
2. 年間スケジュール
3. 択一对策
4. 記述問題対策
5. 択一・記述試験の感想
6. 面接対策
7. 面接試験
8. その他



特に、勉強スケジュールや勉強方法などについて具体的に説明を頂きました。勉強方法では、通信教育などを利用されたこと、また論文作成では回答作成、知識の補充、再回答のサイクルを2週間間隔で実施され、実際の試験を想定し、時間配分感覚を覚える訓練をされたそうです。

また、業務経歴や小論文において、必ずしも高度な内容の業務にする必要はなく、課題抽出や課題対応がしっかり整理できている業務がよいと指導を頂きました。

具体例をもとに、技術士試験に対する取り組み姿勢や視点などを説明頂き、受験者にとっても大変有意義な発表だったのではないかと思います。

3) グループ討議(15:20~17:00)

受講者9人、講演者を含めてスタッフ6名の計15名で、2つのグループに分かれて討議を行いました。

まず、講習内容について質疑応答、日頃から心配な点や疑問点について各講師がアドバイスするとともに、願書について具体的な指導が行われました。特に一部の受講者の方からは事前に願書を提出頂いていたこともあり、講師である技術士が査読し、具体的なアドバイスを行えたことは良かったと思います。



特に締め切りがせまった『願書の業務経歴表の書き方について』『小論文について』などを中心に討議が行われました。また、『勉強時間やスケジュール』『参考文献、参考図書』などの質問がありました。技術士がそれぞれの体験をもとに質問に答え、活発な意見交換が受講者にとって有意義だったのではないかと思います。

3. 終わりに

本年度は、昨年度に引き続き、願書提出前の4月に開催したことで、受講者の関心も高く、講習内容も受講者へのアンケート結果からも概ね満足頂いたと考えております。

これからも、愛媛県技術士会では、この講習会の周知徹底を図り、地域社会に必要な技術士を確保することを目的に、当該講習会を開催し続けて行く所存であります。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成28年度技術士第二次試験受験講習会 アンケート結果

1. 講習会を何で知りましたか。

- ①所属組織内の連絡 . . . 4名
- ②知人の紹介 0名
- ③協会等からの案内 3名
- ④その他 0名

2. プログラムの内容についての感想

(1) 『技術士第二次試験とその対策』について

複数回答あり

- ①勉強のポイントが分かった . . . 4名
- ②論文作成の参考になった . . . 6名
- ③解りづらかった 0名
- ④特になし・⑤その他 0名

(2) 『合格体験談』について

- ①非常に参考になった 4名
- ②勉強方法が分かった 4名
- ③他部門も聞きたかった 0名
- ④特になし 1名
- ⑤その他 0名

(3) 『グループ討議』について

- ①非常に参考になった 4名
- ②より細かいところが聞けた . . . 2名
- ③特になし 0名
- ④その他 0名

(4) 『テキスト』について

- ①内容がよくまとめられていた . . 3名
- ②解りやすかった 5名
- ③内容の重複箇所が多い 0名
- ④特になし・⑤その他 0名

(5) 『開催時期』について

- ①適当である 7名
- ②早い時期がよい(月旬) 1名
- ③遅い時期がよい 0名
- ④その他 0名

(6) 『セミナー参加費』について

- ①費用は適当である 6名
- ②やや高いと思う 1名
- ③やや安いと思う 1名
- ④その他 0名

3. 今後のセミナーで希望すること、その他のご意見がありましたら下欄にお書きください。

- ・業務内容の詳細について、後日、添削してほしい。